

## 芸術監督・斎藤 純のショートエッセイ 石神の丘から 120

現在、岩手町立石神の丘美術館で開催中の『大宮政郎展』は、LAST DRAWINGSと銘打っていますが、しばしば「ドローイングって何ですか？」と聞かれます。

確かにドローイングは聞き慣れない言葉かもしれませんが、けれども、「デッサンのことです」と私が答えると、たいていの方が「なあんだ」という顔をします。ドローイングは英語なのです。フランス語ではデッサンといいます。

日本人は漢字、平仮名、片仮名を使い分け、さらに外来語もたくさん使い分けています。ドローイングとデッサンも外来語の多様な使用例のひとつといえるでしょう。

ただ、デッサンは下書きや習作というニュアンスで使われ、ドローイングはそれじたいで完結している作品という捉え方がされているようです（厳密にそういう使い分けのルールがあるわけではありません）。

では、私たちが日常的に使っているさまざまな外来語について、思いつくままに挙げてみましょう。

お酒のラベルと宛て名ラベルは、レコード（CD）のレーベルと同じ Label です。ローマ字のヘボン式のスペルは Hepburn で、名女優オードリー・ヘップバーンと同じです。スペルが同じなのに読み方が異なる例はほかにもあります。モールス信号を発明したモールスと、明治時代に貝塚を発見して日本の考古学の扉を開いたエドワード・モースは同じです。ついでに記しておく、モールス信号のモールスは 19 世紀アメリカ絵画の巨匠モールスと同一人物です。

音楽の世界ではもっと大変なことになっています。

一般的に使われている「ド・レ・ミ」はイタリア語。強弱を表す「ピアノッシモ」や「フォルテ」などもイタリア語です。みなさんがコンサートのときに使う「アンコール」もイタリア語です。

調性を表す「ハ長調」や「変ホ短調」などは日本語。これをクラシック音楽の世界ではドイツ語を用いて「ツェー」や「エスマール」といいます。ギターやピアノのコード（和音）に使われる「C」や「Ebm」は英語です。

ちなみに、ドレミファソラシドを日本語ではハニホヘトイロハといいます。上の例のように、調性を記す際に今も使われています。こんなに複雑な使い方をしているのは日本だけでしょう。

ともあれ、ラスト・ドローイングと銘打った『大宮政郎展』ですが、視力がほとんど失われた今も旺盛な制作活動が続けられていますから、「再びラスト・ドローイング」と銘打った展覧会が開かれるのも遠くなさそうです。大宮さんはあと 10 年で 100 歳になります。私は密かに『ワンハンドレッド大宮政郎展』を企画しています。

石神の丘美術館通信《いしび》

ishibi

2019.9 Vol.198

令和元年 9 月発行  
発行・岩手町立石神の丘美術館  
岩手県岩手郡岩手町五日市  
10-121-21 〒028-4307  
TEL 0195-62-1453  
FAX 0195-62-1477  
<http://museum.ishigami-iwate.jp/>

屋外展示場はリニューアル工事の為  
2020年初夏までお休みしています



宇田義久展

Aqua

UDA Yoshihisa  
works 2014-2019

9月28日(土)–11月4日(月・休)

# 宇田 義久 展 Aqua

UDA Yoshihisa works 2014-2019

1966年福島県会津若松市生まれの宇田義久は、岩手大学特設美術科を卒業後、盛岡を拠点に制作を続けています。

当館では、2008年に開催したグループ展「石神の丘アートウォーク2 いわたの現代美術と出会う、夏。」に参加。館内展示室や岩手町・大町商店街では木綿布を縫い合わせて制作した作品、画面に糸を貼った作品を展示したほか、美術館屋外展示場では、当館の環境にあわせ現地で制作したインスタレーションを発表しました。

それからおよそ10年。この間も作品はさまざまな変化をみせています。「作品を振り返ってみると、徐々に川の流れや水の循環に惹かれている自分に気づく」と語る宇田。

本展では、水を意味する「Aqua」をテーマに近作を紹介します。つややかに照りかえす画面、その潤みの中では複雑に色の層が重なり合い、変化やゆらぎを浮かび上がらせます。



《 気象 16-2 》  
2016年 アクリル、ウレタンニス、パネル



《 気象 予感 》  
2017年 アクリル、パネル



《 水位 2014 沈殿2 》  
2014年 アクリル、ウレタンニス、パネル

◇ 対 談 ◇

宇田義久(出品作家)

×

斎藤 純(当館芸術監督)

9月28日(土) 13:30~15:00

聴講無料

※ただし観覧券が必要です

展覧会期:9月28日(土)~11月4日(月・休)

開館時間:9:00~17:00(入館は16:30まで)

休 館 日:毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日)

観覧料金:一般300円/大・高生200円

中学生以下無料

## 岩手大学×石神の丘美術館 共同研究 南部甘藍 菜の花プロジェクト

岩手町は100年のキャベツ産地ですかつてこの地で盛んに栽培された品種「南部甘藍(なんぷかんらん)」をもう一度育て菜の花を咲かせてみようという試みに挑戦しています



どんな花が咲くか楽しみ…

## 岩手町にしかないアジサイロードを一緒に作りませんか?

2020年初夏の再開をめざし整備中の当館屋外展示場では下記プロジェクトの参加者を募集しています

①9/12(木)…現地にてリニューアルスランの説明会

②10/3(木)…アジサイロードをつくるための苗植え

参加希望の方は、9/10(火)正午までに岩手町教育委員会事務局へお申し込みください

みなさまのご参加をお待ちしております

岩手町教育委員会事務局社会教育課  
TEL.0195-62-2111(内線345)

## 美術館隣接 道の駅 石神の丘/レストラン石神の丘情報

道の駅 石神の丘 TEL0195-61-1600/レストラン石神の丘 TEL0195-61-1602



## フリーマーケット& りんごの試食販売会



9/21(土)・22(日)

10:00~16:00

道の駅イベント広場にて開催!!

※雨天の場合は、フリーマーケットのみ  
9/28(土)・29(日)に順延となります



## 9/2(月)からの おとくなランチ



◆ Bランチ① ¥880  
県産豚生姜焼き丼、  
ミニかけうどんセット

◆ Bランチ② ¥880  
石神ラーメン、  
若鶏唐揚げ(3カン)、半ライスセット

◆ Cランチ ¥780  
石神ラーメン、  
黒内豆腐揚げ出し  
きのこあんかけミニ丼セット

◆ おすすめランチ ¥680  
かけうどん、ねばり芋コロッケ(1ヶ)  
ミニとろろ、半ライスセット

